

文系数学

数と式

【(1)中央大 (2)旭川大 (3)摂南大】

次の式を因数分解せよ。

(1) $2x^2 + 3xy - 2y^2 - 3x - y + 1$

(2) $(x-1)(x-3)(x-5)(x-7) + 15$

(3) $a^2(b-c) + b^2(c-a) + c^2(a-b)$

【(1)大阪経大 (2)愛知大】

(1) $\sqrt{5+\sqrt{21}} - \sqrt{5-\sqrt{21}}$ を簡単にせよ。

(2) i を虚数単位とする。このとき $i+i^2+i^3+i^4 = \text{ア}$ であり、
 $i+i^2+i^3+i^4 + \dots + i^{30} = \text{イ}$ である。

【(1)立教大 (2)西南学院大】

(1) $\frac{x}{(x-1)^2(x+1)} = \frac{a}{(x-1)^2} + \frac{b}{(x-1)} + \frac{c}{(x+1)}$ が x についての恒等式となるとき、
 $a = \text{ア}$, $b = \text{イ}$, $c = \text{ウ}$ である。

(2) a, b, c を定数とする。 x, y, z に対して $x - 2y + z = 4$ および $2x + y - 3z = -7$ を満たすとき、 $ax^2 + 2by^2 + 3cz^2 = 18$ が成立する。このとき、 $a = \text{ア}$,
 $b = \text{イ}$, $c = \text{ウ}$ である。

【名城大】

多項式 $x^3 + ax^2 + bx - a$ を $x^2 + x + 1$ で割った余りが $-x + 3$ であるとき、定数 a, b の値を求めよ。

【早稲田大】

整式 $P(x)$ を $x-1$ で割ると1余り、 $(x+1)^2$ で割ると $3x+2$ 余る。

- (1) $P(x)$ を $x+1$ で割ったときの余りを求めよ。
- (2) $P(x)$ を $(x-1)(x+1)$ で割ったときの余りを求めよ。
- (3) $P(x)$ を $(x-1)(x+1)^2$ で割ったときの余りを求めよ。

【成蹊大】

a, b は実数の定数とする。不等式 $x^2 + ax + b < 0$ の解が $-3 < x < 2$ であるとき、不等式 $bx^2 - ax + 1 > 0$ の解を求めよ。

【(1)水産大学校 (2)成蹊大 (3)甲南大】

(1) x の方程式 $|x^2 - 1| + x = 0$ を解け。

(2) $x^2 - \sqrt{(2x - 4)^2} + 1 = 0$ を満たす実数 x を求めよ。

(3) 不等式 $2|x - 2| + |x - 1| < 3$ を解け。

【関東学院大】

x についての方程式 $x^2 + kx + 12 = 0$, $x^2 + 4x + 3k = 0$ が共通な解をもつとき、定数 k の値を求めよ。

【(1)京都産業大 (2)愛知大】

次の式を因数分解せよ。

(1) $(x-2y)^3 - (-2x+y)^3$

(2) $(x-y)^3 + (z-y)^3 - (x-2y+z)^3$

【立命館大】

$(a+b+c)(a^2+b^2+c^2-ab-bc-ca)$ を展開すると \square になる。

この式を用いて $8x^3+27y^3+18xy-1$ を因数分解すると \square になる。

【大同大】

$$(1 + \sqrt{5} + \sqrt{6})(1 + \sqrt{5} - \sqrt{6}) = \text{ア}\square\sqrt{\text{イ}\square}$$
 であり、

$$\frac{1}{1 + \sqrt{5} + \sqrt{6}} = \frac{\text{ウ}\square + \sqrt{\text{エ}\square} - \sqrt{\text{オ}\square}}{\text{カ}\square}$$
 である。

【立命館大】

(1) n は2以上の自然数とする。整式 x^n を $x^2 - 3x + 2$ で割ったときの余りは、 である。

(2) 整式 x^{2015} を $x^2 + x + 1$ で割ったときの余りは、 である。

【広島工大】

a を正の定数とする。不等式 $-x - 2a \leq 4x \leq x + 10$ を満たす整数がちょうど5個であるような a の値の範囲を求めよ。

【甲南大】

方程式 $x^4 + 2x^3 - x^2 + 2x + 1 = 0$ の実数解を求める。

$x = 0$ は解ではないので $y = x + \frac{1}{x}$ とおき、方程式を $y^2 + 2y + b = 0$ と変形すると、

$a = \text{ア}$, $b = \text{イ}$ である。したがって、方程式の解は $x = \text{ウ}$, エ である。

【法政大】

実数 x に対して、 $k \leq x < k+1$ を満たす整数 k を $[x]$ と表すことにする。このとき、方程式 $2[x] = 4x - 5$ は2つの解 x_1, x_2 ($x_1 < x_2$) をもつ。 x_1, x_2 の値を求めよ。